

## 2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/後学期/後学期 : /Second term/Second term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月4 : /Mon.4

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10121409			
科目番号 /Course Number	10160310			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義・演習 : Lecture/Practicum			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	プレゼンテーション力とは (リベラルアーツ・ゼミナール) : Presenting with Impact (Liberal Arts Seminar)			
担当教員名 / Instructor(s)	/(榎原 美樹) : EBARA Miki			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
			○	○
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	担当教員は NHK で国際報道記者・キャスターとして勤めた経験を持ち、その際の経験を活かしてプレゼンテーションの力を養ってもらえるよう講義を行う。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	<p>いまやモバイル機器のクリックひとつで自分が発信する情報が瞬時に世界を駆けめぐり、情報とデータを制するものが世界を制するとまで言われ時代です。だからこそ、自分の発したい情報をどのようにプレゼンテーションし「人の心に届く」情報を発信することができるのかを学び、その力をつけることは重要です。</p> <p>この授業は、NHKで30年以上の経験を積み、リポーターとして国際ニュースをお茶の間に届け、またキャスターとしてスタジオで英語の討論番組の司会を行ってきたジャーナリストが実務経験を活かして教鞭をとります。</p> <p>他人にうまく話</p>
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan

No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第1回	【9月28日】 イントロダクション【オンデマンド】
	英		
2	日	第2回	【10月5日】 プレゼンテーションとは【対面】
	英		
3	日	第3回	【10月14日（水）振替】（内容追って）【オンデマンド】
	英		
4	日	第4回	【10月19日】 自分について語ってみよう【形式未定】
	英		
5	日	第5回	【10月26日】 他人について語ってみよう【形式未定】
	英		
6	日	第6回	【11月2日】 （内容追って）【形式未定】
	英		
7	日	第7回	【11月9日】 話の構成とは【形式未定】
	英		
8	日	第8回	【11月16日】 ビジュアルエイズ（視覚資料）をどう使うのか【形式未定】
	英		
9	日	第9回	【11月30日】 人の心はどう動くのか【形式未定】
	英		
10	日	第10回	【12月7日】 Critical thinking とは（グループプレゼンテーションの準備）【形式未定】
	英		
11	日	第11回	【12月14日】 発音、視点の多様性（グループプレゼンテーションの準備）【形式未定】
	英		
12	日	第12回	【12月21日】 グループ・プレゼンテーション【対面】
	英		
13	日	第13回	【令和9年1月11日】 本番への準備、および発表時の重要事項【形式未定】
	英		
14	日	第14回	【1月18日】 プレゼンテーション【対面】
	英		
15	日	第15回	【1月25日】 プレゼンテーション【対面】
	英		

## 履修条件 Prerequisite(s)

日	特になし
英	

## 授業時間外学習（予習・復習等）

## Required study time, Preparation and review

日	<p>受講を前に、学生の皆さんには「どのようなプレゼンテーションができるようになりたいか」を考えておいていただきたいと思います。また、毎回ではありませんが「次の授業までに用意をしてきてほしいもの」を課題として出す予定です。授業後半では、グループでのプレゼンテーションを行うことを目的に、必要であれば授業外に準備をしてもらうことも出てくるかもしれません。</p> <p>本講義に対しては、67.5時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。</p>
英	

## 教科書／参考書 Textbooks/Reference Books

日	特になし
英	

## 成績評価の方法及び基準 Grading Policy

日	この講義では、受講者1人1人のプレゼンテーション力を高めることを目的に、討議や発表を頻繁に行っていただくものとなります。このため講義への出席率のほか、受講者間での議論、講義者への質問など積極的な参加を行っているかどうか。また、次の講義までに用意する課題や、授業終了時に提出するミニレポートなどを、総合的に評価致します。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	15回の講義のうち、対面5回、オンデマンドまたはオンライン10回の混合形式となります。どの回がどちらかについては、順に確定し通知します。シラバスの内容は変更の可能性あり。
英	